

第 23 回 原子力損害賠償・廃炉等支援機構 廃炉等技術委員会 議事要旨

日 時 2017 年 08 月 29 日(火)13:30～16:20

場 所 原子力損害賠償・廃炉等支援機構(NDF) 第二大会議室

1. 戦略プラン 2017 について

NDF 事務局から、戦略プラン 2017 について説明した。

- 前回、前々回の廃炉等技術委員会で議論いただいた戦略プランの内容について、7月31日の廃炉・汚染水対策福島評議会(第14回)において、配布の「概要版」相当の資料とパワーポイントの説明資料に当たる資料を使用して説明の上、議論いただき、その結果を踏まえて本体を取りまとめた。内容の大筋はこれまでの説明と変わっていないが、その後、廃炉等技術委員会の委員や、専門的な内容については燃料デブリ取り出し及び廃棄物対策の専門委員会委員にもレビューをいただき、また評議会における説明の後、地元の目線から福島県をはじめ地元13市町村の方々にも御意見を伺い、取りまとめた。

廃炉等技術委員からの主な意見は以下の通り。

- 県民の理解等について謳う8章の部分を、今回は冒頭に記載することを検討すべきである。また地域社会との関わりについても各組織の役割を示す図に加え、規制当局も含めた一体的な進め方を今後もしっかりと検討することを望む。

本文案の修正等については委員長一任とし、取りまとめ後に公表することとした。

2. 今後の取組について

NDF 事務局等から、今後の取組について、説明した。

廃炉等技術委員からの主な意見は以下の通り。

- 今後はプロジェクトとして管理・推進するということがあったが、これまで中長期ロードマップの下で課題を様々にブレークダウンして検討・調査を重ねてきて蓄積されてきている多くの知恵を最大限生かせるよう十分注意してプロジェクトを設計することが必要である。
- 今後生まれる研究開発課題は予備エンジニアリング作業で見出されることが多いと思う。その関係を見失わないよう、適切にコーディネートするようにして、関係者間で必要十分な検討が行われるように配慮して取り組み、ゴールを達成させることが重要である。その際、恐らく大きな課題になると思われるのは意味のあるモックアップ試験をどう設計するか、安全審査上の課題をどう克服していくかであると思われる。関係者が一体となって取り組み、進めることを望む。
- プロジェクトの成否はリーダーによるところが非常に大きいため、経験・知識・知恵やさらにはコミュニケーション能力・調整能力も要するということが、適切な方をリーダーに選定することがポイントの1つだと考える。

- プロジェクト管理については、誰に対しての説明責任をどこが主体で負うのかを明確にしないと、「誰が何をやるのか」という責任体制がはつきりせず、意味が分からなくなってしまう。また、体制については、本来法令事項であってもおかしくない話であり、皆で話し合い、様々な主体の人が話し合い、集まってやっていきますというだけでは、脆弱な組織体制に見える。さらに、廃炉の積立金の取戻しに関する計画についても、法的なオーソライズも含め、しっかりと検討することが必要である。
- プロジェクトを進めるにあたり、WBSなどのツールを使った可視化は非常に大事だと考える。考える要素の多さから、精緻にすればするほど堂々めぐりになってしまうかもしれないが、戦略が練られるある程度のもので関係者間での議論を開始し、迅速さも考慮することを望む。
- エンドポイントをうまく決められないがゆえに最適化もできず、計画も立てられない。そのエンドポイントを決められないのは、ステークホルダーとの関係の中で風評被害やさまざまな誤解から来るようなところもあり、さらには、理解を得るために逆にそういう誤解に迎合するような部分から進まなくなるといふこともある。そこを誠実に対応し、最終的にはステークホルダーに協力していただいて、社会全体としてそういう風評被害等を無くしていくというところまで働きかけが必要である。

3. 福島第一原子力発電所の状況について

東京電力から、福島第一原子力発電所の状況について、陸側遮水壁の閉合開始等の汚染水対策の進捗、3号機の燃料取り出しカバーの設置開始等の1～3号機の使用済燃料取り出しに向けた準備状況の進捗、燃料デブリ取り出しに向けた3号機のミュオン測定等各号機の内部調査・各種分析の状況、トラブル等の報告があった。

廃炉等技術委員からの主な意見は以下の通り。

- 凍土壁の閉合以降の地下水については、様々な流入の可能性をしっかりと考慮し、かつ、システム像を確かに把握して、それに基づいてコントロールを適切に継続されることを望む。

4. その他議題

NDF事務局から、以下の事項等について説明があった。

- 第2回福島第一廃炉国際フォーラムについて
- NDF 廃炉支援部門の最近の活動実績
- 廃炉等技術委員会等の主要スケジュール

以上